

ISO14001 内部環境監査を実施しました

9月2日（月）～4日（水）に ISO14001 内部環境監査を実施しました。

内部環境監査は、年に一度 ISO14001 に基づく環境マネジメントシステム（EMS）が正しく運用されているかという視点に加え、有効に機能しているかを確認するために行います。

監査は部局の環境推進リーダーが中心となって行いますが、連携開設科目の環境講義「マネジメント論」を履修の岐阜大学生・名古屋大学生、本学有志の学生も参加しています。学生監査員は事前に外部講師及び本学の教員より研修を受け、ISO14001 の規格及び監査における着眼点や不適合事項の特定など監査の手法について学び、監査チームごとにチェックリストを作成して監査に臨みます。

今年度は 15 名の学生が職員とともに監査に参加しました。学生からは「薬品漏洩時や有害ガス発生時等の緊急事態に対応できるよう、各研究室に緊急時の対応マニュアルが掲示されている」「環境側面をリストアップし、環境側面を踏まえて環境目標を設定している」「周知カードや説明資料を通して、構成員に EMS のことを伝達するプロセスがマニュアル通りに確立されている」など良いところを含め、多くの意見が寄せられました。全体として不適合事項はありませんでしたが、改善の機会となる意見が 9 件あったため、対応していきます。

監査に参加した学生からは「EMS の詳しい仕組みを知る貴重な機会となり、環境についてより深く考えるきっかけとなった」「実際に内部環境監査を行って、大学の環境に関する取組を改めて学ぶことができた」などの感想が寄せられました。

【研修の様子】



【内部環境監査の様子】

